

キャッシュレス決済サービスを使って買い物をすると、利用額の 25%、上限 5000 円がポイント還元されます。

しかも、「マイナポイント」の利用には年齢制限がなく子供でも申し込み可能なので、例えば夫婦に子供 2 人の 4 人家族であれば、合計で 2 万円分ものポイントをもらうことができる非常にお得なキャンペーンとなっています。

ちなみに、「マイナポイント」というポイントがあるわけではなく、楽天カードなら「楽天ポイント」、PayPay なら「PayPay ボーナス」のように、自分で選んで登録したキャッシュレス決済サービスのポイントが貯まる形となります。

「マイナポイント」で実際にポイントを貯められる期間は 2020 年 9 月 1 日～2021 年 3 月 31 日までの 7 カ月間です。

マイナンバーカードを持っていない人はまず「マイナンバーカード」を取得しておく必要があります。

【2】ワンポイント・アドバイス

* 偽のメールや SMS、偽サイトを見分けるチェックポイント

(1) メール、SMS の場合のチェックポイント

・急がせる、慌てさせるような内容は要注意

メールや SMS で「不正利用がありました」「至急ご確認ください」などの緊急連絡を装って受け取った人を慌てさせ、冷静に考える余裕をなくさせる。

このようなメッセージを受け取った場合は、メールや SMS に記載される電話番号や URL をクリックしないこと。

・メッセージに記載される URL は信用しない

偽サイトへの URL を、実在する機関の URL に似せてメールや SMS 本文中に記載している。自分の利用する銀行やクレジットカード会社であっても、送られてきた URL をクリックするのではなく、事業者の問い合わせ窓口をネット検索して直接アクセスする、もしくはあらかじめ設定していたブックマークからアクセスするなどして、メッセージ内容の確認を行うこと。

・既に注意喚起が出ていないか確認

送られてきたメールの本文やタイトルをネット検索して、同じような事例がないか調べてみる。

フィッシング詐欺や不当請求などのメールや SMS は、大量にばらまかれているので、気づいた人が注意喚起の投稿をしている事が多い。

(2) ウェブサイトの場合のチェックポイント

・そのサイトの会社や店舗が実在するかを確認

通販サイトであれば会社概要や特定商取引法に基づく表記のページに会社情報の記載があります。

会社名、代表者名、住所などをネット検索して、実在する会社や店舗かどうかの確認を。

・ウェブサイトが「https://」で始まる URL でも信用しない

暗号化（SSL 化）されたウェブサイトには鍵や施錠のアイコンが画面に表示されており、URL が「http://」ではなく「https://」で始まっています。

しかし、最近は「https://」で始まる URL の偽サイトの方が多くなってきて

